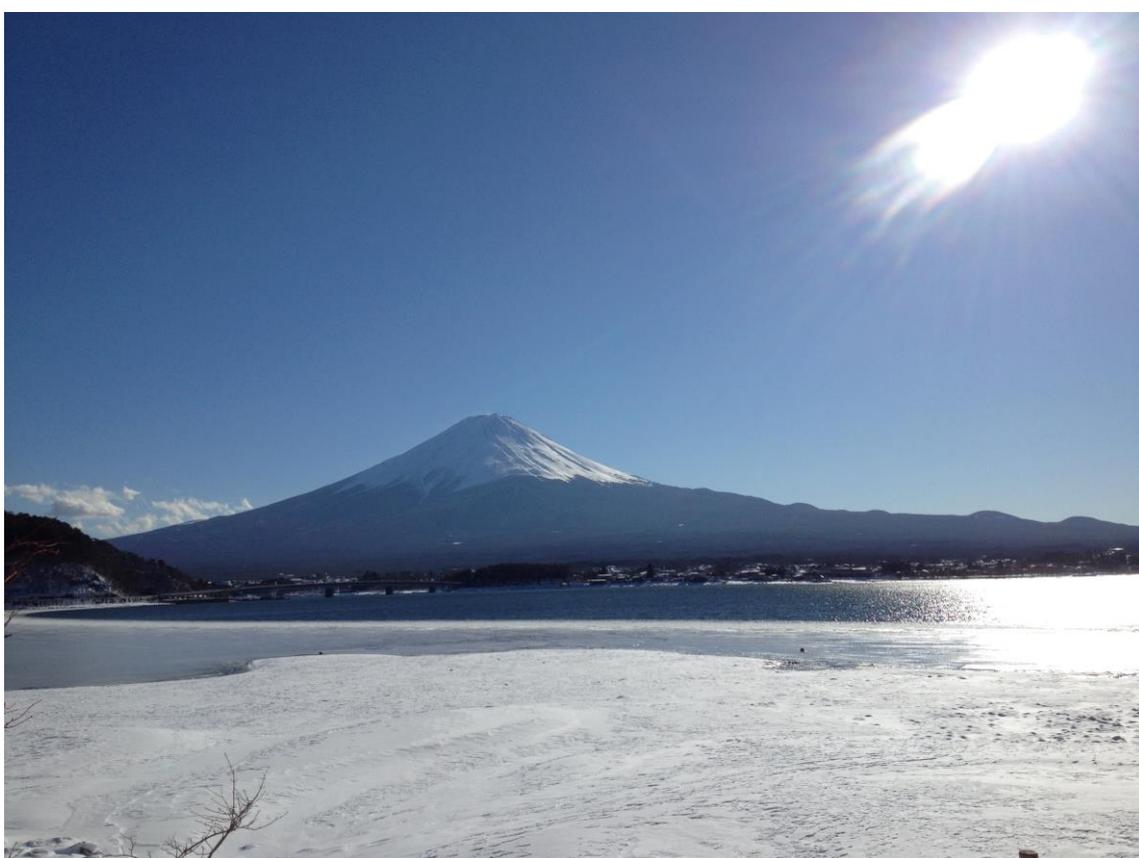


# 平成 29 年度入省予定 環境省総合職理工系

## 内定者の声



## はじめに

本紙は環境省総合職理工系内定者（H29 年 4 月入省予定）が自主的に製作したものです。幅広い人材を求める環境省を皆様に知っていただくこと、環境省に興味を持っていただくこと、国家公務員を志す受験者の参考となること、を目的に製作する運びとなりました。ここに示した内定者の経験が皆様の進路選択の一助となれば幸いです。

平成 28 年 12 月

環境省総合職理工系内定者 一同

## 《本紙構成》

### 第一部 内定者プロフィール

基本データ

（学科/専攻、学歴・性別・年齢、試験区分、国家公務員試験合格年度など）

自己紹介

志望動機

環境省を志望される方へのメッセージ など

### 第二部 内定者の国家公務員採用総合職試験 体験記

勉強量について

勉強内容・試験内容について

### 第三部 内定者の官庁訪問 体験記

※HP でも公開しております。

## 《付記》

本紙内容に関する責任は、全て製作者である内定者にあります。また、各人の考え方、勉強法などはあくまで個人的な見解です。ご理解の上、ご覧ください。また、次年度以降の採用試験では、試験日時や英語試験の活用など、H28 年度試験と一部違いが見られる場合もございます。ご注意ください。詳しくは人事院 HP でご確認ください。

## 第一部 H29 年度 総合職理工系内定者のプロフィール

H29 年度に入省する予定の総合職理工系内定者は、全 7 名となりました！内定者はそれぞれが環境問題に関心を持っています。その関心の持ち方や志望動機が一人ひとり違うなと編集していて思いました。

第一部では、内定者のプロフィールや志望動機、そして本紙を読んでもらっている皆様に向けたメッセージを記載しています。また、個人情報保護の観点から実名の代わりに各内定者の PN（ペンネーム）を記載しております。

7 名全員がそれぞれ違った個性的なキャラクターをしているので、本紙を読まれた皆様に環境省が求める人材の多様性について感じていただければと思います。

### H29 年度 総合職理工系内定者の内訳

#### 《男女比》



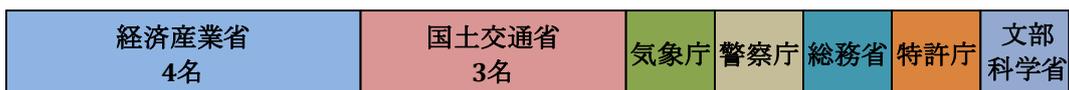
#### 《学歴》



#### 《官庁訪問時の初回訪問日》



#### 《併願省庁》



各1名

|    |     |         |       |      |      |      |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|
| くろ | セブ島 | 野球は観る専門 | ジャグラー | のびしろ | 二日酔い | しろくま |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|

PN : くろ

| 基本データ                                     |
|---|
| 【大学所在地・学科/専攻】 宮城県・理学研究科 地学専攻              |
| 【学歴・性別・年齢】 修士新卒・女性・24 歳                   |
| 【試験区分】 数理科学・物理・地球科学（院卒）                   |
| 【国家公務員試験合格年度】 平成 28 年度                    |
| 【試験席次】 ギリギリ                               |
| 【英語加点の有無】 無                               |
| 【説明会参加回数】 7～8 回                           |
| 【特に印象に残っている説明会等のイベント】<br>政策教室             |
| 【併願した省庁（第一クール訪問順）】<br>国土地理院・国土交通省→気象庁→環境省 |

#### 【就活のスケジュール】

| 時期          | 内容               |
|-------------|------------------|
| 修士 1 年 8 月  | 国土地理院インターンシップ参加。 |
| 修士 1 年 秋頃   | ちょこちょこ勉強開始。      |
| 修士 1 年 2 月  | 民間企業インターンシップ参加。  |
| 修士 1 年 3 月  | 民間企業就活スタート。      |
| 修士 2 年 5 月  | 公務員試験を受ける。       |
| 修士 2 年 6 月  | 民間企業から内々定を頂く。    |
| 修士 2 年 8 月  | 環境省から内々定を頂く。     |
| 修士 2 年 10 月 | 環境省から内定を頂く。      |

※政策教室：環境省において本年は 6 月に開催された説明会の一貫。ステークホルダーの立場に立ったロールプレイングや、グループディスカッションを通じた政策立案が経験できる。

くろ

セブ島

野球は観る専門

ジャグラー

のびしろ

二日酔い

しろくま

**【私はこんな人です】**

- 長野県出身で、大学進学を機に宮城県へ。
- 緑豊かなキャンパス（熊の目撃情報多数）で地学を専攻。
- 大学では交響楽部に所属して、ヴァイオリンを弾いていました。
- ウサギが好きです。
- 京都も好きです。
- 恐竜もかっこいいと思います。
- 日本酒っておいしいと思います。

**【志望動機】**

私が環境省を志望したのは、環境保全と人間の豊かな社会生活に貢献したいと思ったからです。元々環境アセスメントに興味をもっていたため、民間企業のインターンシップに参加させていただきました。その経験から、環境保全をただ単に自然に手をつけないこととするのではなく、自然と共生するような社会を構築することとする必要があると感じました。

官庁訪問を通じ、再生可能エネルギーの導入に強い関心をもつようになりました。地域ごとの特色を活かした、地産地消、地域自立型の再生可能エネルギーの導入に携わりたいと考えています。

また、一口に環境といっても、そのフィールドはものすごく広く、知らないことばかりです。環境を取り巻く様々な事柄について、幅広く知っていきたいと思っています。

**【環境省を志望される方へのメッセージ】**

私が就活をして思ったのは、興味のあることに対しては行動してみるべきだということです。考えて行動することももちろん大切ですが、行動した結果から考えることで得られるものも大きいと思います。民間企業の就活もしましたが、その過程で自分が興味のあるもの、将来やってみたいことが段々はっきりしてきました。それは今後生きていく過程で色々なことを知り、経験していくうちに変わっていくものだと思いますが、就活を通し、そうして少しずつ人生を歩んでいくのだなと思うようになりました。

自分が何に興味があるのか、分からなくなるときもありましたが、周りの人に話を聞いてもらうだけで気持ち的にすごく楽になりましたし、人に話すことで自分の中で整理をつけていくことができた気がします。

とにもかくにも、考えても分からないことは溜め込まず、どんどん人に話すとよいと思います。あと、やっぱりご飯はちゃんと食べないと、元気が出ません。いっぱい食べましょう。

|    |     |         |       |      |      |      |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|
| くろ | セブ島 | 野球は観る専門 | ジャグラー | のびしろ | 二日酔い | しろくま |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|

PN：セブ島

| 基本データ                                     |
|---|
| 【大学所在地・学科/専攻】東京都・創造理工学部 社会環境工学科           |
| 【学歴・性別・年齢】学部既卒・男性・24 歳                    |
| 【試験区分】工学（大卒）                              |
| 【国家公務員試験合格年度】平成 28 年度                     |
| 【試験席次】上の下                                 |
| 【英語加点の有無】なし                               |
| 【説明会参加回数】4 回                              |
| 【特に印象に残っている説明会等のイベント】<br>サマーインターン、JOB トーク |
| 【併願した省庁（第一クール訪問順）】<br>環境省→経済産業省→警察庁→総務省   |

## 【就活のスケジュール】

| 時期          | 内容                                 |
|-------------|------------------------------------|
| 2015 年 8 月  | 前職を退社。環境省を志望するか海外でボランティア活動をするか悩む。  |
| 2015 年 9 月～ | 世界各地を旅。日本から見えるものと世界から見えるものの違いを感じる。 |
| 2016 年 3 月  | 第一志望を環境省に決めて勉強を始める。                |
| 2016 年 4 月～ | せっかくの機会なので他の省庁の説明会にも積極的に参加する。      |
| 2016 年 8 月  | 環境省から内々定をいただく。                     |

|    |     |         |       |      |      |      |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|
| くろ | セブ島 | 野球は観る専門 | ジャグラー | のびしろ | 二日酔い | しろくま |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|

### 【私はこんな人です】

- 明るくて元気！趣味は登山、旅行、自転車。
- 大学では地盤系の研究室に所属し、液状化対策の研究を行っていました。
- 前職があり、インフラ業界で働いていました。

### 【志望動機】

- 環境に興味を持ったきっかけ

小学生の頃、毎年沖縄旅行に行って海の綺麗さと海の生物の多さに感動していました。沖縄のある施設でウミガメがクラゲと間違えて人が捨てたビニール袋を食べてしまい、死んでしまうことが問題になっていると聞き、この海の綺麗さと海の生物たちを守りたいと思うようになりました。

- 環境省に興味を持ったきっかけ

大学3年生のとき環境省のサマーインターンに参加したのがきっかけです。そのときは環境アセスメントのワークショップを行い、事業者の立場、国民の立場、環境省の立場にたって事業が環境に与える影響について考えていました。この経験から、環境省以外でも環境について関わることができる仕事があると感じ、一度は自分の専攻がダイレクトに活かせるインフラ業界を志望することにしました。

- 環境省を志望した理由

希望通りインフラ業界に就職し、そこでは、事業者の立場として環境に関わる機会が多くありました。具体的には、環境アセスメントの手続きや工事における環境配慮などを業務として行っていました。すると自分の想像していた以上に、環境への取り組みは主体的に行われておらず、開発がメインで環境は二の次という仕事の流れを感じました。これは社会全体がまだまだ環境に対する意識が足りていないことが原因だと思い、最も環境保全の取組において、社会に影響を与えることのできる環境省を志望しようと決めました。

### 【環境省を志望される方へのメッセージ】

後悔をしないように就活をしてください。仕事を決めることは非常に大きな決断です。研究や課題などで忙しい人もいますが、なるべく説明会などに足を運ぶことが重要だと思います。名前だけでは興味のわからない省庁であっても、話を聞いてみるとイメージが変わったりします。そして、説明会の内容だけで無く、そこで働いている人達の雰囲気や人柄なども見てみてください。

また、職歴や留年歴がある人もそれを理由で諦めないでください。その時に何を思い、今なぜ環境省を志望したいのか、その経験をどう活かすのかななどをきちんと説明できるようにしておくことが重要だと思います。

その上で環境省を選んでいただけるのであれば大変嬉しいです。説明会等で皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

|    |     |         |       |      |      |      |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|
| くろ | セブ島 | 野球は観る専門 | ジャグラー | のびしろ | 二日酔い | しろくま |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|

PN：野球は観る専門

| 基本データ  |
|--|
| 【大学所在地・学科/専攻】 東京都・工学系研究科 建築専攻                      |
| 【学歴・性別・年齢】 修士新卒・男性・24 歳                            |
| 【試験区分】 工学（院卒）                                      |
| 【国家公務員試験合格年度】 平成 28 年度                             |
| 【試験席次】 上位 5%くらい                                    |
| 【英語加点の有無】 有（25 点）                                  |
| 【説明会参加回数】 9 回                                      |
| 【特に印象に残っている説明会等のイベント】<br>霞ヶ関オープンゼミ（2016 年 3 月 3 日） |
| 【併願した省庁（第一クール訪問順）】<br>環境省→国土交通省（住宅局）→文部科学省（施設系）    |

## 【就活のスケジュール】

| 時期          | 内容                              |
|-------------|---------------------------------|
| 2015 年 8 月  | 国家総合職試験・TOEIC の勉強を開始。           |
| 2015 年 12 月 | 中央省庁の説明会に参加し始める。                |
| 2016 年 1 月  | TOEIC 公開テスト受験。                  |
| 2016 年 3 月  | 民間企業の就職活動を開始。                   |
| 2016 年 5 月  | 民間企業から内々定をいただく。<br>国家総合職試験一次試験。 |
| 2016 年 6 月  | 国家総合職試験二次試験（専門記述）。              |
| 2016 年 7 月  | 国家総合職試験二次試験（人物試験）。              |
| 2016 年 8 月  | 官庁訪問。                           |

|    |     |         |       |      |      |      |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|
| くろ | セブ島 | 野球は観る専門 | ジャグラー | のびしろ | 二日酔い | しろくま |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|

### 【私はこんな人です】

- 大学では建築学を学んでいます。ゼミでは建築環境工学とあって、主に建物の省エネについての研究を行っています。環境問題には昔から関心があったのですが、建築という人々のライフスタイルにとって身近な分野で環境問題と向き合うことで、より現代の環境問題を強く意識するようになりました。
- プロ野球球団の中日ドラゴンズを応援しています。ここ数年は我慢のシーズンが続いていますが、必ずまた黄金期がくると信じています。野球は観る専門です。
- ひとり旅が好きです。最低限の荷物を持って日本の各地を旅することが好きです。自分と向き合うためには、知らない街をゆっくり歩くのがいちばんですよ。現地に行くと、その場の魅力に直接触れたことが、将来国家公務員になって素敵な日本を守りたいという想いにつながったのだと確信しています。

### 【志望動機】

大学のゼミの研究で学んだのですが、建築分野においても CO<sub>2</sub> 排出量の多さをはじめとする環境問題がなかなか改善されていないのが現状です。そしてもちろん、環境問題は建築分野に限りません。まずは、多くの人々が環境問題に関心を持つことが大切なのです。自分自身が強く抱くこの問題意識と、正面から向き合える場所が環境省だと考えました。地球温暖化問題が喫緊の課題となった今、日本は先頭に立って、世界中を巻き込みながら低炭素社会の実現を目指す使命があります。そのために、私は国民ひとりひとりに今直面している問題を伝えるための仕組みを考えていきたいと思いました。そして、日本を世界が憧れる環境先進国にするためのきっかけ作りをしたいと思い、環境省を志望しました。

### 【環境省を志望される方へのメッセージ】

就職活動において、国家公務員というのはかなり特殊な分野のように思います。国家公務員試験の準備もおそらく一筋縄ではいかないでしょう。教養の勉強をして、専門の知識を深めて、面接の練習をして、本当にうまくいくのか私自身も不安の日々でした。試験対策をしている間に、まわりの友人は就職活動をどんどん進めて民間企業から内々定をいただいていた。でも、なにも焦ることはないと思います。自分自身が目指したい道がこれだと決めたのなら、まわりのペースなんて気にしない方がいいです。8月の官庁訪問で、ずっと目指していた環境省から内々定をいただいた時、素直に思ったことは、春先に就活を終えた友人との数ヶ月の開きは、この先のことを考えればごく僅かな差に過ぎないということです。環境省は、これから向き合わなければならない問題が増えていくと思います。決して多くはない人員で様々なチャレンジをしています。環境省の業務についてあまりイメージが湧かないと思ったのなら、ぜひ説明会にお越し下さい。たぶん、この国の将来のためにここで働きたいと思うに違いありません。

|    |     |         |       |      |      |      |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|
| くろ | セブ島 | 野球は観る専門 | ジャグラー | のびしろ | 二日酔い | しろくま |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|

PN： ジャグラー

| 基本データ                 |                                   |
|-----------------------|-----------------------------------|
| 【大学所在地・学科/専攻】         | 大阪府・工学研究科 環境・エネルギー工学専攻            |
| 【学歴・性別・年齢】            | 修士新卒・男性・25 歳                      |
| 【試験区分】                | 工学（院卒）                            |
| 【国家公務員試験合格年度】         | 平成 28 年度                          |
| 【試験席次】                | 上の下                               |
| 【英語加点の有無】             | 有（25 点）                           |
| 【説明会参加回数】             | 7,8 回（説明会、霞ヶ関 OPEN ゼミ、サマートライアルなど） |
| 【特に印象に残っている説明会等のイベント】 | 霞ヶ関 OPEN ゼミの懇親会                   |
| 【併願した省庁（第一クール訪問順）】    | なし                                |

## 【就活のスケジュール】

| 時期           | 内容  |
|--------------|---|
| 2013 年 8 月   | サマートライアルに参加（模擬 COP19）。みんなが自国の主張をしつつも、落としどころを探す過程にわくわく。  |
| 2015 年夏～冬    | 民間インターンシップに参加。環境省の説明会にも参加。  |
| 2016 年 3 月   | 民間説明会解禁。環境系企業を中心に民間就活。  |
| 2016 年 4 月中旬 | 環境省 5 日間のインターンシップに参加。国の仕事を体験。一次試験、勉強開始。なんやかんや先延ばしにしまった。   |
| 5 月下旬        | 一次試験、受験。教養が全く出来ずに絶望。合格が期待できず、二次試験の勉強に手がかからない。   |
| 6 月上旬        | 民間企業で内々定をいただく。一次試験、合格発表。まさかの合格！2 週間後の二次試験に向けてここから猛勉強開始。   |
| 6 月中旬        | 二次試験、筆記試験受験。自己採点で 9 割越え、手ごたえあり。   |
| 7 月中旬        | 二次試験、政策課題討議&人事院面接。人事院面接で思った以上に深掘りされて驚く。   |
| 7 月下旬        | 二次試験、合格発表。無事合格するもここに来て民間企業と迷い一日ごとに心変わり。最終的には環境省に心を決める。  |
| 8 月上旬        | 官庁訪問。環境省しか訪問しなかったため、大阪⇄東京を夜行バスで往復する日々。第一クールを事故渋滞で遅刻したのはいい思い出。基本的に面接も待機時間も楽しく過ごせました。内々定後、民間企業の内々定辞退。 |
| 10 月         | 内定！   |

※サマートライアル：例年夏季に実施される、職員との交流を深めながら、環境省に関わる政策の企画・立案を体験するイベント。コースによりテーマが異なる。期間は 2 日。

|    |     |         |       |      |      |      |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|
| くろ | セブ島 | 野球は観る専門 | ジャグラー | のびしろ | 二日酔い | しろくま |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|

### 【私はこんな人です】

- 研究
 

ゴミ処理施設の設置における合意形成の研究をしています。社会的には必要だが、誰もが自分の近くには作って欲しくない施設の一つにゴミ処理施設があげられます。そんなゴミ処理施設を設置する際に、誰が何をどのようにすればコミュニケーションが円滑に進むかということをテーマに、アンケートなどを用いて研究しています。
- サークルなど
 

大学の環境サークルに所属していました。行政の環境職に関心を持ったのもサークル活動で行政の方にお世話になったことがきっかけでした。サークル活動をきっかけに、現在は環境 NPO の運営に携わっています。
- 趣味・特技など
 

サーカスが大好きで、自分でもジャグリングをします。2 年に 1 度ペースで来日するシルクドソレイユの観劇は欠かせません。高校時代はフェンシング部だったので、今から東京オリンピックが楽しみです。

### 【志望動機】

- 環境に興味を持ったきっかけ：将来世代に誇れる環境を残したい
 

環境に関心を持ったきっかけは 1 回生の授業で「現在のペースで石油を利用し続けると、石油は残り約 40 年しか使えない」ということを学んだことです。40 年後、僕たちは 60 歳くらいになっておそらく孫がいるでしょう。その孫に「おじいちゃんたちが全部使っちゃったから、僕たちが困ってる！」なんて言われたくないなあ……、と感じたことが、環境を仕事にしようと考えようになったきっかけでした。
- 環境省の志望理由：環境の未来を考える「シナリオライター」
 

公務員の役割はその性質上「黒子」と言われることがよくありますが、個人的に環境省職員の役割は「シナリオライター」だと考えています。つまり、環境の未来（あるべき姿、シナリオ）を作成し、日本・世界を俯瞰的に捉え、企業や個人が協力してその未来を実現できるよう、法律や制度・予算などを整えるという役割です。スマートライアルや説明会・インターンシップを通じ、そんな役割を担う環境省に魅かれ、自分もそこで将来世代に誇れる環境を残す仕事がしたい、と感じたことが志望理由でした。

### 【環境省を志望される方へのメッセージ】

環境省は数ある省庁の中でも比較的新しい省庁です。新たな課題に向き合っているためか、他省庁と比べ、上下の風通しが良く、一人ひとりが携わる仕事が大きく、成長しつつあることから、他省庁からはベンチャー省庁とも呼ばれているそうです。色んな環境問題に関心があり、俯瞰的な視点から社会的意義が大きな仕事をしたいというそのあなた、一緒に働きませんか？

|    |     |         |       |      |      |      |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|
| くろ | セブ島 | 野球は観る専門 | ジャグラー | のびしろ | 二日酔い | しろくま |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|

PN：のびしろ

| 基本データ                                     |
|---|
| 【大学所在地・学科/専攻】 京都府・地球工学科 環境工学コース           |
| 【学歴・性別・年齢】 学部新卒・男性・22 歳                   |
| 【試験区分】 工学（大卒）                             |
| 【国家公務員試験合格年度】 平成 28 年度                    |
| 【試験席次】 中の上ぐらい                             |
| 【英語加点の有無】 あり                              |
| 【説明会参加回数】 1 回                             |
| 【特に印象に残っている説明会等のイベント】<br>学校主催の就職説明会の個別ブース |
| 【併願した省庁（第一クール訪問順）】<br>環境省→国土交通省→経済産業省     |

## 【就活のスケジュール】

| 時期      | 内容   |
|---------|--|
| 3 年春    | 総合職の試験を受けることを決める。<br>(受からなければ院進学)              |
| 3 年秋    | 勉強を始める。(主に 1 次の内容)<br>院試にも使える TOEIC の勉強も進めていた。 |
| 1 次試験後  | 2 次の勉強を始める。                                    |
| 2 次試験後  | 院試の勉強と、官庁訪問に向けて宿探しを始める。                        |
| 官庁訪問中   | 官庁訪問と院試で東京と京都を行ったり来たり                          |
| 4 年 8 月 | 内々定  |

|    |     |         |       |      |      |      |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|
| くろ | セブ島 | 野球は観る専門 | ジャグラー | のびしろ | 二日酔い | しろくま |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|

### 【私はこんな人です】

- 大阪府出身で大学は実家から通っていました。
- 中・高ではサッカー部で、大学でもサークルでサッカーをしていました。趣味という趣味が無くてすごく困っています。
- アルバイトで塾講師として小学生に算数を教えていました。
- 大学では環境工学を専攻して、研究室ではセシウムの溶出などを研究していました。

### 【志望動機】

最初環境に興味を持ったきっかけは、暑いのが嫌いで、温暖化をなんとかしたいと思ったことです。大学で環境工学を学んでいくうちに、環境問題はひとつひとつ独立しているのではなく、様々な問題が複雑にからみあっていることを知りました。そうした複雑で幅の広い環境問題を改善、そして解決していくためには世界全体、あるいは国全体として取り組んでいくことが重要ではないかと考えるようになりました。そうした考えで、国として先頭になって環境問題に取り組んでいる環境省で、住みよい環境を作っていきたいと思いました。

### 【環境省を志望される方へのメッセージ】

私は官庁訪問で3つの省庁を訪問しました。環境省以外は第1クールでだめだったので、その中で思ったことがあります。それは環境省の面接は他の省庁と少し違っていたということです。面接なのでももちろん志望動機など一般的なことは聞かれるのですが、それ以上に、普段の仕事の内容などを面接官の方が話してくださり、それに対して自分の考えを述べたりすることが多かったのです。私は学部卒なので知らない分野も多かったのですが、自分の考えはしっかり言っていました。今思うと、このように自分の意見を言えたことが良かったのかなと思います。

また、面接では様々な分野で活躍されている方のお話を聞くことができ、自分の全く知らない分野の話も数多くあると思います。そうしたお話を自分の知識に入れることも大事なのかなと思います。知識を増やしていくことで新たな発見も増え、やりたいことも増えていき、志望動機も変わっていくかもしれません。私自身もそうで、最初漠然としていた志望動機や取り組みたいことが具体的になっていきました。

まとめると、自分の意見をしっかりと言うこと、そして、1つの面接で得た知識を吸収し官庁訪問中に成長していくこと。この2つのことが重要だと感じました。

|    |     |         |       |      |      |      |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|
| くろ | セブ島 | 野球は観る専門 | ジャグラー | のびしろ | 二日酔い | しろくま |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|

PN：二日酔い

| 基本データ                               |
|-------------------------------------|
| 【大学所在地・学科/専攻】滋賀県・理工学研究科 環境都市専攻      |
| 【学歴・性別・年齢】修士新卒・男性・24 歳              |
| 【試験区分】工学（大卒）                        |
| 【国家公務員試験合格年度】平成 26 年度               |
| 【試験席次】中の下くらい                        |
| 【英語加点の有無】無                          |
| 【説明会参加回数】3 回                        |
| 【特に印象に残っている説明会等のイベント】<br>霞が関オープンゼミ  |
| 【併願した省庁（第一クール訪問順）】<br>環境省→経済産業省→特許庁 |

## 【就活のスケジュール】

| 時期         | 内容  |
|------------|---|
| 2013 年 5 月 | 就職先について漠然と考え始める。企業調べで、国家公務員に興味を持ち始める。総合職試験勉強に少しずつ手を付ける。 |
| 2014 年 4 月 | 国家公務員総合職試験一次試験。   |
| 2014 年 5 月 | 国家公務員総合職試験二次試験。   |
|            | 大学院生として研究に没頭。   |
| 2016 年 3 月 | 官庁訪問の準備。  |
| 2016 年 6 月 | 春の官庁訪問  |
| 2016 年 8 月 | 夏の官庁訪問（内々定！！！！）   |

|    |     |         |       |      |      |      |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|
| くろ | セブ島 | 野球は観る専門 | ジャグラー | のびしろ | 二日酔い | しろくま |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|

### 【私はこんな人です】

- ◇ 富山県出身で大学入学の際に滋賀県に引っ越しました。(一人暮らし)
- ◇ 中学生時代はバスケットボール部に所属し、高校生時代は陸上競技部、大学生時代では書道部に所属していました。
- ◇ 釣りやゴルフ、書道、バスケットボールを趣味としています。大学に入学するまでは、海釣りを主に行っていましたが、大学生になってからは琵琶湖まで車で 10 分程度のところに住んでいたため、基本、ブラックバスを対象に釣りをしていました。琵琶湖で釣りをすることになってから、外来種のことを改めて考える機会が増えたように感じます。期間限定ではありますが、ベランダで家庭菜園もしています(笑)
- ◇ 大学・大学院での研究内容は、廃棄物問題や資源枯渇問題に関するものでした。(環境省に興味をもった理由の一つです。)
- ◇ 修士 1 回生の時に 3 か月間、アメリカのボストンへ研究留学をしてきました。留学先では、「家庭起源廃棄物からの金属回収可能量及び回収に必要なエネルギー量」の推計を行いました。

### 【志望動機】

- ◇ 地球温暖化問題をはじめとする国際的な環境問題、災害廃棄物問題等の多岐にわたる仕事に関わりたいと思い、環境問題の解決に関与できる就職先を考えていました。
- ◇ コンサルタントと環境省で相当悩みました。民間企業では、制度作りの基盤となるデータ収集を主に行うという非常に重要な役割を担うことができるため、コンサルタントにも関心がありました。しかし、私は、制度・ルールづくりに関与し、制度ができた後の改正にも関与していきたいと思っていたことや、国際的な職務にも従事することで国際的な環境問題の解決にも関与していきたいという気持ちがより強くあったため、環境省を志望しました。

### 【環境省を志望される方へのメッセージ】

環境問題を解決したいと強く思っている人が集まっている団体の一つが環境省だと思います。私のやりたいことは環境省にしかないと分かり、環境省を志望しました。実際に、官庁訪問中に職員の方々のお話を聞くたびに環境省への思いが強くなっていきました。ただ改めて思うことは、環境問題に携わるという観点に立つと、環境省という就職先は数ある企業の中の選択肢の一つでしかないということです。制度づくり等の立場以外から環境問題の解決に尽力したいのであれば、環境コンサルタント等からのアプローチもあると思います。私自身、民間か公務員のどちらに就職しようかとたくさん考えました。考える材料としては、説明会への参加やOB・OG訪問です。特に、説明会にはできる限り参加しました。実際に、職員の方々からお話を聞くことで、自分がどこで何をやりたいかを明確にすることができました。就活は、どうしても大変に感じてしまっていますが、将来、自分自身のやりたいことをするための通過点だと思います。たくさん悩んで、やりたいことのある就職先を見つけ出していただけると良いと思います。(私のお勧めは、絶対に環境省です!)

|    |     |         |       |      |      |      |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|
| くろ | セブ島 | 野球は観る専門 | ジャグラー | のびしろ | 二日酔い | しろくま |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|

PN：しろくま

| 基本データ                                  |
|--|
| 【大学所在地・学科/専攻】 東京都・新領域創成科学研究科 環境システム学専攻 |
| 【学歴・性別・年齢】 修士新卒・男性・24 歳                |
| 【試験区分】 工学（大卒）                          |
| 【国家公務員試験合格年度】 平成 27 年度                 |
| 【試験席次】 真ん中くらい                          |
| 【英語加点の有無】 有                            |
| 【説明会参加回数】 4 回                          |
| 【特に印象に残っている説明会等のイベント】<br>政策シミュレーション    |
| 【併願した省庁（第一クール訪問順）】<br>環境省→経済産業省        |

## 【就活のスケジュール】

| 時期           | 内容  |
|--------------|---|
| 2014 年 4 月   | （学部 4 年）経産省（理系出身）の方の話を聞き、理系でも公務員の道があることを知る。急いで出願し、1 次試験は合格するものの、2 次試験で見事玉砕。           |
| 2015 年 7 月   | （修士 1 年）再度試験を受け、今度は無事最終合格を果たす。しかし修士は卒業しなかったため、官庁訪問は次年度に延期する。                          |
| 2015 年 秋～冬   | 留学中に就活のスケジュールが突然変更され（8 月解禁→6 月解禁）焦る。同じ頃、次年度は春にも官庁訪問があることを知って驚く。                       |
| 2016 年 3～5 月 | （修士 2 年）民間の就活と研究（学会の準備）で大わらわ。実は博士課程も考えていたため悩んだが、最終的には就職、そして環境省を第一志望にすることを決意した（5 月半ば）。 |
| 2016 年 6 月   | 春の官庁訪問で環境省から内々定をいただき、就活を終える。  |

|    |     |         |       |      |      |      |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|
| くろ | セブ島 | 野球は観る専門 | ジャグラー | のびしろ | 二日酔い | しろくま |
|----|-----|---------|-------|------|------|------|

### 【私はこんな人です】

- 京都出身、大学から東京にきました。標準語も完璧には話せず、かといって関西弁も薄れつつあるので、最近は自分のアイデンティティを失いつつあります。(笑)
- 大学では4年間、体育会合気道部に所属していました。
- 海外に行くことが好きです。修士1年の時にイギリスに3か月間留学していました。旅行も好きですが、外国で暮らすと日本との違いが色々とわかって面白いです。最近では夏休みにインドに1人で旅行に行ったのですが、水に当たって現地で3日間入院しました。死ぬかと思った・・・

### 【志望動機】

- 環境問題への関心 地球温暖化問題がきっかけです。小学校の頃、ニュースで海面上昇によって国土が沈みつつある島国の存在を知り、衝撃を受けました。生まれ育った京都の名を冠する京都議定書の存在にも影響を受けました。
- 環境省を選んだ理由としては、1つ目は温暖化問題（特に国際交渉）に関わりたかったからで、2つ目は途上国の環境保全の支援を行いたかったからです。日本が今後世界に貢献できる分野の一つに、環境分野があると思っています。公害を克服した経験や優れた環境技術を途上国でも役立てられるはず。そう考えて官庁訪問中に職員の方のお話を聞くと、同じような思いを持つ職員の方に複数お会いでき、大変勇気づけられました。

### 【環境省を志望される方へのメッセージ】

今でこそ、環境省の「志望動機」なるものを人並み程度(?)には語れますが、ここに至るまでには相当苦勞しました。私の場合、「海外が好きなので、海外と関わりたいなあ」「温暖化など、環境分野に興味があるかなあ」というぼんやりした思いはあっても、そこから具体的な志望動機（他人に説明できるもの）に落とし込むなんて、もうお手上げ状態でした。結局自分ひとりではできず、研究室の先輩に手伝ってもらったり、官庁訪問中に職員の方のお話を聞いたりする中で志望動機ができていったと思います。

官庁訪問中は他省庁や民間も同時に面接を受けていたので、環境省という選択でよいのか、不安になる時もありました。そこで決め手となったのは、様々な職員の方と会う中で「もともと興味があった温暖化や途上国関連の仕事はもちろん、それ以外の業務も面白そうだし、ここなら頑張っていけそう」と感じる事ができたからです。

もし私のように志望動機や就職先の決め手で悩んでいる人がいれば、OB訪問や官庁訪問を上手に利用してみてください。官庁訪問では職員の方のお話を聞く機会が数多くあります。採用面接も兼ねているため緊張するのは仕方ないと思いますが、「環境省についてもっと知りたい」という気持ちで職員の方のお話を聞くとよいのではないのでしょうか。そうすれば自然と、自分は環境省で働きたいのか・働くべきなのか、という問いにも答えが見つかると思います。